

富山湾の赤潮を調べる

研究分野

- ・ 漁場の環境を守る

ねらい

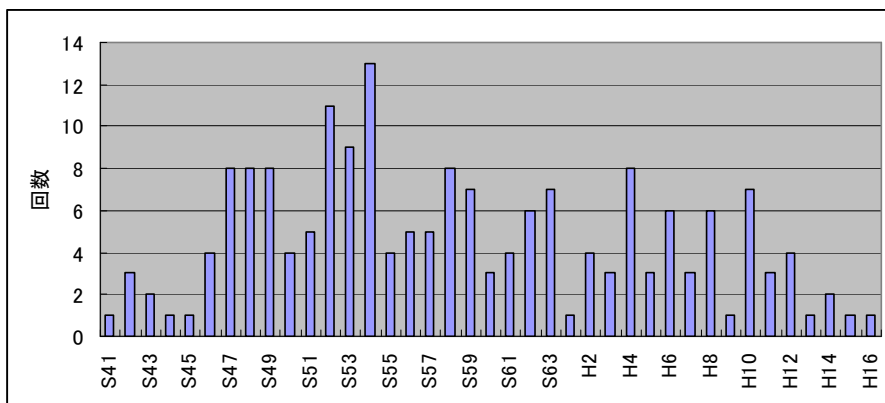
- ・ 赤潮とは、海水中のプランクトンが異常繁殖し、その結果海水の色が変わる現象です。
- ・ 赤潮の発生は、一般的に海域の富栄養化が原因とされています。
- ・ 昭和 41 年から富山湾における赤潮発生状況を調べています。

成果

- ・ 富山湾における主な赤潮の構成生物は、夜光虫（動物プランクトン）と珪藻類（植物プランクトン）です。
- ・ 富山湾においては、魚介類の大量へい死を引き起こしたり、貝を有毒にする有害赤潮の発生は確認されていません。
- ・ 昭和 41 年から平成 16 年までの富山湾における赤潮発生回数はおよそ 181 回でした（図 1）。
- ・ 昭和 46 年以降から発生回数が増加し、昭和 54 年には最高の 13 回の発生が確認されました。
- ・ 平成の時代に入ってから、年 1～8 回の発生が確認され、昭和の時代と比べると減少傾向が見られます。
- ・ 水質汚濁防止法等の法規制や排水処理能力の向上によって、赤潮の発生が少なくなったと考えられます。

活用

- ・ 赤潮の発生を把握し、海域の富栄養化を予防するための施策に反映します。



【図 1 富山湾における赤潮発生回数の経年変化】

研究実施期間 昭和 41 年度～平成 16 年度
問い合わせ先 富山県水産試験場 (076-475-0036)